

1-9 工場・事業場等からの地域別二酸化硫黄排出量の推移

(単位:千トン)

年度 地域	平成11年度		平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	排出量 (t)	構成比 (%)																		
大阪市地域	1.7	38.4	1.6	40.5	1.4	45.5	1.4	45.1	1.4	46.7	1.3	43.1	1.4	48.2	1.2	45.2	1.2	50.2	0.2	10.8
北大阪地域	0.5	11.4	0.3	7.5	0.3	8.6	0.3	9.3	0.5	17.6	0.5	18.0	0.3	12.1	0.4	13.4	0.4	17.2	0.2	9.7
東部大阪地域	0.7	16.8	0.6	16.1	0.5	15.7	0.4	12.9	0.4	12.9	0.4	14.8	0.6	20.6	0.5	16.6	0.2	8.3	0.2	9.2
南河内地域	0.2	3.8	0.1	3.7	0.2	5.4	0.2	5.0	0.1	4.2	0.1	3.8	0.0	1.4	0.0	1.6	0.0	1.1	0.0	2.1
泉州地域	1.3	29.7	1.3	32.2	0.8	24.7	0.8	27.7	0.6	18.6	0.6	20.3	0.5	17.8	0.6	23.2	0.6	23.2	1.3	68.2
合 計	4.4	100.0	4.0	100.0	3.2	100.0	3.0	100.0	3.0	100.0	3.0	100.0	2.9	100.0	2.7	100.0	2.5	100.0	1.9	100.0

(注1) 地区分

大阪市地域：大阪市

北大阪地域：豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、能勢町及び豊能町

東部大阪地域：守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、東大阪市、四條畷市及び交野市

南河内地域：富田林市、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町及び千早赤阪村

泉州地域：堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、高石市、泉南市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町及び岬町

(注2) 大阪市、堺市、高槻市(平成15年度以降)及び東大阪市(平成16年度以降)については各市の調査、平成20年度以降は、環境省調査による。

(注3) 旧美原町域については、平成15年度までは南河内地域、平成16年度からは泉州地域として集計している。